

# 総括

## ■ 種別

高度・専門機能「救急医療・災害時の医療」を適用して審査を実施した。

## ■ 認定の種別

書面審査および4月27日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「救急医療・災害時の医療」 認定

## ■ 改善要望事項

高度・専門機能「救急医療・災害時の医療」  
該当する項目はありません。

### 1. 病院の特色

貴院は1908年に相澤医院として設立されて以降、増床と機能の強化を図ってこられた。「患者さん中心の医療」をモットーにスタッフが一丸となり、24時間365日運営で診療にあたっている。地域の救急医療の中核機関として、応需率99%以上という驚異的な「断らない救急医療」を実践していることは高く評価できる。救急外来およびECU、HCU、CCU等の入院病床も整備され、効率的に運用し評価を行うとともに、医療スタッフの教育、地域への啓発にも積極的に取り組まれている。行政、消防、他の医療機関等との連携も強く、地域計画にも明確に位置付けられている。災害に対してもシステムを十分に整備し、多数の災害派遣実績があるほか、地域の他施設への転送や関連施設との連携も強化し、地域完結型救急医療を実践している。

今後も積極果敢な改善活動を継続され、より高い目標に向け邁進されることを期待したい。地域住民や多くの医療機関からの多大なる信頼と期待に応えながら、貴院が益々発展されることを祈念する。

### 2. 地域の救急医療を支える効果的な仕組み

救急科部門の運営理念、運営方針を明確にし、院内外に周知、実践している。松本二次医療圏および長野県中信地域において、精神疾患・中毒疾患等の初療を担い、必要に応じて各専門医療機関と連携を図っている。また、地域の救急に関連する種々の会議に参加し、中核を担っており、地域における役割と連携体制は優れている。応需率は99%以上で、不応需例についても病院長に報告し、改善指示があればフィードバックを行う仕組みがある。救急隊員、医師、看護師等の種々の研修

を受け入れ、また、種々の講習会等を開催し、地域や他施設の医療従事者の教育に積極的に関わっている。

病院全体および救急部門の実態に即した組織図は明確にされている。多職種で構成されている合同会議や救命救急センター評価委員会等で組織体制の検討を行っている。病床の運営基準も明確で、入退院支援室とも連携しながら入院病床の確保が行われている。ERの職員は、医師・看護師だけでなくリハビリ関連の職員も専従で、臨床検査技師、薬剤師、放射線技師なども二交代制勤務としているなど、必要な人員が確保されている。なお、今後は職員の業務負担の軽減に向けた取り組みがあればさらに良い。多数の事務職員、医師事務作業補助者によって記録入力への支援が行われている。救急患者の統計は診療情報管理課で集計・フィードバックされ、毎月の運営会議で検証が行われている。ERには多数の診察室と重症度別のベッド20床があり、適切に整備されている。また、空床確保に向けて近隣の医療機関と連携し速やかな転送を行うなど、救急患者の受け入れに向けた取り組みは高く評価できる。

### 3. 救急医療への適切な対応

松本二次医療圏の三次医療施設として高度急性期医療を担うとともに、二次救急医療の輪番制度にも参加し、さらにER型救急施設として軽症患者にも対応し、松本医療圏の救急医療の砦として高い実績がある。「断らない救急医療」を実践しており、救急救命士への特定行為指示や教育にも関与するなど、高く評価できる。walk-in患者に対しては、トリアージナースにより緊急度判定が実施され、緊急度レベルに応じた診療を行っている。また、事後検証会議を開催し、トリアージの質を高める取り組みが継続して行われている。緊急時の検査・診断体制は整備され、パニック値などの報告基準や報告手順も明確である。また、未読チェックシステムにより未読防止の体制が構築されていることは高く評価できる。手術については、各診療科間の意思疎通は円滑で、迅速に判断がなされている。麻酔科医は6名確保され、緊急手術が可能で、多数の緊急手術が安全に行われている。新型コロナウイルス発生時の医療継続計画（MBCP）が策定され、危機管理に関するマニュアルも随時改訂されており、危機管理は適切に行われている。リハビリテーション部門は救急の各部署に専属スタッフを配置し、早期リハビリテーションが実施されている。なお、計画書の作成については多職種の一層の関与が期待される。

適時な診療録等の記載に向けて、記載の手順を整備し運用されている。外来・入院各部署に適した記録方法を効率的に併用して実践していることは評価できる。なお、ECU、HCU等から一般病棟へ転棟する際のサマリーについては、検討が期待される。救急患者のプライバシーの保持、心理的配慮が必要な家族に適した環境の提供がなされ、また、ER診察後に帰宅する際は、患者の病態に応じたパンフレットを用いて説明し対応されており、適切である。

#### 4. 救急部門の質改善に向けた取り組み

救急医療に関する教育は、全職員を対象としたBLS研修や、ER看護師や救急救命士を対象としたトリアージ研修が計画的に行われている。ALS等の種々の講習会も開催されている。学会発表や論文発表も積極的に行っており、新たな知見を社会に還元している。ERや集中治療部部門で活用するクリニカル・パスが複数運用され、随時見直しもされている。死亡症例の振り返り等では救急科医師やコメディカルスタッフ、医療安全推進室スタッフも参加した検討が行われている。また、救命救急センター医師カンファレンス、救急科・総合内科の症例検討会が毎週行われている。なお、剖検症例検討会については、医師以外の専門職の積極的な参加を期待したい。日本外傷データバンク、脳卒中データバンク、NCD等に参加して他施設と比較できるデータが蓄積されている。今後は、これらを質改善に繋げる方策の検討と実施を期待したい。

#### 5. 災害時の適切な対応のための体制

2020年に地域災害拠点病院に指定され、松本市地域防災計画に則って自院の役割を定めて院内外に公表している。また、災害医療対応のためのミッションとビジョンを制定し、地域において指導的な役割を発揮しており高く評価できる。多数傷病者発生時に備えて参集ならびに派遣計画が策定され、DMATを院外に派遣する体制が整備されている。派遣にかかる職務規程も整備され職員の身分保証がなされ、多数の災害への派遣実績もあり評価できる。多数傷病者発生時の院内受け入れについては災害対策本部運用マニュアルが整備され、事業継続計画（BCP）についても大規模災害に対応できるよう改訂されている。医療コーディネーターを行政に派遣する仕組みや、BCPの円滑な遂行に向けて職員の安否、参集確認システムを整備するなど、院内受け入れの体制は優れており高く評価できる。

特殊災害（CBRNE）対応として、研修を受講したスタッフが在籍し、具体的対応手順が定められている。受け入れ資機材についてもテント、防護服、除染器材等が適切に整備されている。初期医療被ばく医療機関としての対応も期待されており、特殊災害への対応体制は高く評価できる。

## 1 地域の救急医療を支える効果的な仕組み

### 評価判定結果

1.1	救急部門の地域における役割、基本方針と連携体制	
1.1.1	地域における役割を踏まえた救急部門の運営理念・運営方針を明確にしている	Ⅱ
1.1.2	地域における役割と連携体制が適切に定められている	I
1.1.3	地域における役割と連携体制の改善に努めている	I
1.1.4	地域および他施設の医療従事者・救急隊員などの教育に関与している	Ⅱ
1.2	救急部門の体制の確立	
1.2.1	救急医療を提供するための組織体制が確立している	Ⅱ
1.2.2	救急部門に必要な人員が確保されている	Ⅲ
1.2.3	救急患者の記録入力支援体制が確立している	Ⅱ
1.2.4	救急医療に必要な施設・設備が整備されている	Ⅱ
1.2.5	救急患者を受け入れる病床が確保されている	I

## 2 救急患者への適切な対応

### 評価判定結果

2.1	チーム医療による診療・ケアの実践	
2.1.1	救急患者を適切に受け入れている	I
2.1.2	救急患者受け入れ後の対応が適切に行われている	I
2.1.3	緊急時の検査・診断に迅速に対応している	I
2.1.4	救急患者の手術を適切に実施している	I
2.1.5	救急患者の受け入れや対応における危機管理が適切に行われている	II
2.1.6	救急部門において早期のリハビリテーションを適切に行っている	II
2.1.7	救急医療の記録を適切に記載している	II
2.1.8	患者・家族への配慮や指導がなされている	II

### 3 救急部門の質改善に向けた取り組み

## 評価判定結果

#### 3.1 質改善に向けた取り組み

3.1.1	救急医療に関する教育・研修を行っている	Ⅱ
-------	---------------------	---

3.1.2	診療の質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
-------	----------------------	---

3.1.3	救急医療の質改善に必要なデータを活用している	Ⅱ
-------	------------------------	---

## 4 災害時の適切な対応のための体制

### 評価判定結果

#### 4.1 災害時の医療支援と院内受け入れ対応のための体制

4.1.1	地域における役割を踏まえた災害時の対応に関する運営理念・運営方針を明確にしている	I
-------	--	---

4.1.2	多数傷病者発生時の院外派遣体制が整備されている	I
-------	-------------------------	---

4.1.3	多数傷病者発生時の院内受け入れ体制が整備されている	I
-------	---------------------------	---

#### 4.2 特殊災害への対応

4.2.1	病院の指定された役割分担に基づく特殊災害への対応のための体制が整備されている	I
-------	--	---